

(別添)

令和 6 年度のアンケート調査票

1. 食品製造事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者
- ☐ 食品卸売事業者 → 食品卸売事業者へのアンケート調査票へ
- ☐ 小売事業者 → 小売事業者へのアンケート調査票へ

【問 2】 貴社の業種について、「日本標準産業分類」の小分類名称から、最も売上の大きい業種を一つ選択してください。

- ☐ 畜産食料品製造業
- ☐ 水産食料品製造業
- ☐ 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業
- ☐ 調味料製造業
- ☐ 糖類製造業
- ☐ 精穀・製粉製造業
- ☐ パン・菓子製造業
- ☐ 動植物油脂製造業
- ☐ でんぷん製造業
- ☐ めん類製造業
- ☐ 豆腐・油揚げ製造業
- ☐ 冷凍調理食品製造業
- ☐ レトルト食品製造業
- ☐ 他に分類されない食料品製造業
- ☐ 清涼飲料製造業
- ☐ 酒類製造業
- ☐ 茶・コーヒー製造業

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）

☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問４】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
☐ 5,000 万円超 1 億円以下
☐ 1 億円超 3 億円以下
☐ 3 億円超

【問５】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
☐ 1 億円超 5 億円以下
☐ 5 億円超 10 億円以下
☐ 10 億円超 50 億円以下
☐ 50 億円超 100 億円以下
☐ 100 億円超

【問６】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

- ☐ 5人以下
☐ 5人超 20人以下
☐ 20人超 50人以下
☐ 50人超 100人以下
☐ 100人超 300人以下
☐ 300人超 1,000人以下
☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問７】 １年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)か ら協議の申し入れが あった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

- ☐ 概ね反映した（81～100%）
- ☐ 一部反映した（41～80%）
- ☐ あまり反映しなかった（1～40%）
- ☐ 全く反映していない（0%）
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

●物流

【問 11】 貴社が発荷主となる場合の納品先での荷待ち（30 分以上）の発生状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 12】 納品先での荷待ちの発生状況について、ここ 2～3 年の状況の変化について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 13】 納品先のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 整備されている
- ☐ 今後整備される予定である
- ☐ 整備を検討されている
- ☐ 整備される予定は聞いていない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 15】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 16】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 18】へ

【問 17】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 18】 全体出荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7 割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約 5 割）

- ☐ 一部パレット化できている（3割程度）
☐ ほとんどパレット化できていない（1割以下）
☐ パレット化できていない（0割） → 【問21】へ
☐ パレット化の必要がない → 【問21】へ

【問19】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、出荷で使用しているパレットについて、およその割合（%）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※合計が100（%）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（%）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問20】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
☐ 自社専用パレットを使用している
☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問21】 納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が1/2ルールである
☐ 半分以上の商品が1/2ルールである
☐ 1/2ルールの商品もあるが半分以上は1/3ルールである
☐ 1/2ルールへの緩和はない
☐ 納品期限についてルールはない
☐ その他（自由記述）

【問22】 ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品のうち、ドライ品（常温品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 貴社の商品のうち、日配品（チルド品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 25】 貴社の商品のうち、冷凍品について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 26】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 27】 納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 28】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 29】 貴社における ASN の導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 導入予定である → 【問 31】へ
- ☐ 検討中である → 【問 31】へ
- ☐ 導入予定はない → 【問 31】へ

【問 30】 上記で「導入している」と回答した場合、納品先との関係における ASN の活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数における ASN の使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分くらい活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

●環境配慮

【問 31】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 33】へ

【問 32】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 34】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 36】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 36】へ

【問 35】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 36】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 38】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 37】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 38】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

【問 39】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 40】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

2. 食品卸売事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者 → 食品製造事業者へのアンケート調査票へ
- ☐ 食品卸売事業者
- ☐ 小売事業者 → 小売事業者へのアンケート調査票へ

【問 2】 貴社が扱っている商材について一つ選択してください。

- ☐ 一般消費者用酒類・食品
- ☐ 業務用酒類・食品
- ☐ 上記の両方

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
- ☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問 4】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
- ☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
- ☐ 5,000 万円超 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 3 億円以下
- ☐ 3 億円超

【問 5】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 5 億円以下
- ☐ 5 億円超 10 億円以下
- ☐ 10 億円超 50 億円以下
- ☐ 50 億円超 100 億円以下

☐ 100 億円超

【問 6】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

☐ 5人以下

☐ 5人超 20人以下

☐ 20人超 50人以下

☐ 50人超 100人以下

☐ 100人超 300人以下

☐ 300人超 1,000人以下

☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問 7】 1年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)から 協議の申し入れがあった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

☐ 概ね反映した（81～100%）

☐ 一部反映した（41～80%）

☐ あまり反映しなかった（1～40%）

☐ 全く反映していない（0%）

☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

●物流

【問 11】 貴社が発荷主となる場合の納品先での荷待ち（30 分以上）の発生状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 12】 納品先での荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 13】 納品先のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 整備されている
- ☐ 今後整備される予定である
- ☐ 整備を検討されている
- ☐ 整備される予定は聞いていない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 15】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 16】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 18】へ

【問 17】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 18】 全体出荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7 割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約 5 割）
- ☐ 一部パレット化できている（3 割程度）
- ☐ ほとんどパレット化できていない（1 割以下）
- ☐ パレット化できていない（0 割） → 【問 21】へ
- ☐ パレット化の必要がない → 【問 21】へ

【問 19】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、出荷で使用しているパレットについて、およその割合（％）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※以下4問の合計が100（％）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（％）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問 20】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
☐ 自社専用パレットを使用している
☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問 21】 納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が 1/2 ルールである
☐ 半分以上の商品が 1/2 ルールである
☐ 1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである
☐ 1/2 ルールへの緩和はない
☐ 納品期限についてルールはない
☐ その他（自由記述）

【問 22】 ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品のうち、ドライ品（常温品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 貴社の商品のうち、日配品（チルド品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 25】 貴社の商品のうち、冷凍品について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 26】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 27】 納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 28】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 29】 貴社における ASN の導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 導入予定である → 【問 31】へ
- ☐ 検討中である → 【問 31】へ
- ☐ 導入予定はない → 【問 31】へ

【問 30】 上記で「導入している」と回答した場合、貴社が発荷主となる場合の取引先との ASN の活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数における ASN の使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分くらい活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

●環境配慮

【問 31】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 33】へ

【問 32】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 34】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 36】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 36】へ

【問 35】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 36】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 38】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 37】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 38】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

--

【問 39】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 40】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

3. 小売事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者 → 食品製造事業者の調査票へ
- ☐ 食品卸売事業者 → 食品卸売事業者の調査票へ
- ☐ 小売事業者

【問 2】 貴社の主な業種の詳細について、一つ選択してください。

- ☐ 百貨店
- ☐ 総合スーパー
- ☐ 食品スーパー
- ☐ コンビニエンスストア
- ☐ ディスカウントストア
- ☐ ドラッグストア
- ☐ 生協
- ☐ その他

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
- ☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問 4】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
- ☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
- ☐ 5,000 万円超 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 3 億円以下
- ☐ 3 億円超

【問 5】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
☐ 1 億円超 5 億円以下
☐ 5 億円超 10 億円以下
☐ 10 億円超 50 億円以下
☐ 50 億円超 100 億円以下
☐ 100 億円超

【問 6】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

- ☐ 5人以下
☐ 5人超 20人以下
☐ 20人超 50人以下
☐ 50人超 100人以下
☐ 100人超 300人以下
☐ 300人超 1,000人以下
☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問 7】 1 年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)か ら協議の申し入れが あった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

- ☐ 概ね反映した（81～100%）
- ☐ 一部反映した（41～80%）
- ☐ あまり反映しなかった（1～40%）
- ☐ 全く反映していない（0%）
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

●物流

【問 11】 貴社の物流センターの利用状況について、選択してください。

- ☐ 利用している
- ☐ 利用していない → 【問 13】へ

【問 12】 貴社で利用している物流センター（食品）のみで該当するものを選択してください（複数選択可）。

- ☐ 自社所有の物流センター
- ☐ 他社所有の物流センター（専用センター）
- ☐ 他社所有の物流センター（汎用センター）
- ☐ その他

【問 13】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください（貴社の物流センターのうち最も割合の高いものを回答してください）。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない

- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 15】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 17】へ

【問 16】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 17】 物流センターの入荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約5割）
- ☐ 一部パレット化できている（3割程度）
- ☐ ほとんどパレット化できていない（1割以下）
- ☐ パレット化できていない（0割） → 【問 20】へ
- ☐ パレット化の必要がない → 【問 20】へ

【問 18】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、入荷時に使用されているパレットについて、およその割合（%）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※合計が100（%）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（%）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問 19】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
- ☐ 自社専用パレットを使用している
- ☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問 20】 貴社における納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が 1/2 ルールである → 【問 22】へ
- ☐ 半分以上の商品が 1/2 ルールである
- ☐ 1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである
- ☐ 1/2 ルールへの緩和はない → 【問 22】へ
- ☐ 納品期限についてルールはない → 【問 22】へ
- ☐ その他（自由記述） → 【問 22】へ

【問 21】 上記で「半分以上の商品が 1/2 ルールである」及び「1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである」を選択した場合、対象となるカテゴリーについて選択してください（複数回答可）。

- ☐ ドライ品（常温品）で採用している
- ☐ 日配品（チルド品）で採用している
- ☐ 冷凍品で採用している
- ☐ その他（自由記述）

【問 22】 ここ 2～3 年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品について、発注を受けてから納品されるまでのリードタイムについて、下記の商品ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
ドライ品（常温品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日配品（チルド品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冷凍品	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ドライ品（常温品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 延長している
☐ 変化していない
☐ 短縮している

【問 25】 貴社が着荷主となる場合の納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 26】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問27】 貴社が着荷主となる場合の取引先とのASNの活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数におけるASNの使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分以上活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

【問28】 貴社における自動発注システムの導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 検討中である
- ☐ 導入していない

【問29】 貴社におけるDX化に向けた取組状況について、選択してください（複数回答可）。

- ☐ AI による需要予測システム
- ☐ AI による値引き支援システム
- ☐ 電子棚札
- ☐ セルフレジ
- ☐ セミセルフレジ
- ☐ その他（自由記述）

●環境配慮

【問 30】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 32】へ

【問 31】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 32】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 35】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 35】へ

【問 34】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 35】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 37】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 36】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 37】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

【問 38】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 39】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

4. 仲卸業者へのアンケート調査票（生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査）

●回答事業者様の企業規模

【問1】 貴社の資本金額について御回答ください。（百万円）

【問2】 貴社の従業員数について御回答ください。（人）

●生鮮ガイドラインの定着状況

【問3】 令和6年3月に農林水産省は「卸売市場の仲卸業者等と小売業者との間における生鮮食料品等の取引の適正化に関するガイドライン（別添）」をとりまとめ、現在、その普及・啓発を行っているところですが、本ガイドラインの認知状況をお伺いしたく存じます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 知っていた
☐ 知らなかった → 【問6】へ

【問4】 問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 社内で周知している
☐ 取引先に伝えている
☐ 取引先から本ガイドラインを受けて協議の申出があった

【問5】 問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや小売事業者との協議により取引の改善が図られたと感じている項目の□にチェック（✓）を入れてください。（複数回答可）

- ☐ 小売事業者からの不当な返品
（例：一部の品質が悪いとの理由、バーコードや値札シール貼付後、納品後一定期間後の返品）
- ☐ 納品価格の不当な引き下げ
（例：セール時の一律の値引き、別の取引先価格を引き合いにした値下げ）
- ☐ 物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定
（例：労務費等の高騰を資料に基づく要請に反した一方的な価格の据え置き、季節商品の値上げ要請に速やかに対応しない）
- ☐ 説明のないリベートの負担の要請
（例：使途不明、算定根拠のない協賛金・物流費の要請、会費等の要求を断った際の取引打ち切り）
- ☐ 一方的なセンターフィー等の負担の要請
（例：明確な説明がないセンターフィーの設定料率変更）

- ☐ 受発注システム使用料の過度な徴収
(例：取引開始条件としてのオンラインシステム開発費用や月次使用料の負担要請)
- ☐ 物の購入要請
(例：恵方巻等イベントの商品購入の催促や取引打ち切りのほのめかし)
- ☐ 従業員派遣や役務の提供の過度な要請
(例：店舗新規開店時の従業員派遣や人件費の負担要請)
- ☐ 十分に説明のない取引条件の変更
(例：店舗への急なサービスでの配送依頼、これまでにない色むらの指摘を理由とした価格引き下げ、産地が異なるだけでの返品)
- ☐ その他（自由記載）

●第1位の取引先との間の課題

貴社が取引されている事業者のうち、最も売上高の高い会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

【問6】第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当する☐にチェック（✓）を入れてください。

☐ ある

☐ 特にない → 【問15】へ

【問7～11】問6で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、各項目の該当する☐にチェック（✓）を入れてください。

注1：「内容」は、以下の＜選択項目の概要＞を参考に選択してください。

注2：「理由」は、課題となっている理由を可能な範囲で具体的に記入してください。

注3：「要因」は、課題を改善することが出来ない要因を選択してください。

注4：各項目で「その他」を選択した場合、（ ）内に可能な範囲で具体的に記入してください。

	項 目 （貴社として最も大きな課題を一つ選択してください）
【問7】 内容	☐ 取引価格や単価 ☐ 代金の減額（リベート等） ☐ 代金の支払遅延 ☐ 買ったたき ☐ 納品時間・期限等の指定 ☐ 契約条件の明確化・協議 ☐ 物流コストの負担 ☐ センターフィー・受発注システム使用料の負担 ☐ 検品 ☐ 返品 ☐ 受領拒否 ☐ 過度の情報開示 ☐ PB商品の契約 ☐ 労務の提供 ☐ 購入・利用強制 ☐ その他 ＜その他の場合、具体的に記入してください＞ → {
	}

【問 8】 頻度	☐ しばしば（同じ事が何度も重なって行われる） ☐ とときどき（ある時間を置いて繰り返される） ☐ まれに（非常に少ない） ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]
【問 9】 理由	<具体的に記入してください> → [	]
【問 10】 要因	☐ 昔からの商習慣により担当者は改善が必要という認識が低い ☐ 取引関係において対応等を断ることが困難 ☐ 他社との差別化のために多少、無理な対応を提案 ☐ 契約書等の書面で合意されている内容 ☐ 業界全体の課題等であるため個々の事業者では改善が困難 ☐ 国等からの規制（賞味期限など） ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]
【問 11】 範囲	☐ 当社のみ ☐ 当社の営業エリア内（一部地域） ☐ 全国の業界内 ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]

<選択項目の概要>

	選択項目	概 要
課題の内容	● 取引価格や単価	→ 原料相場が高騰しているが納品する商品価格は据置きされ、コストの上乗せでの価格の交渉に応じてくれない など
	● 代金の減額（リベート等）	→ 当方の責めに帰すべき理由もなく、先方の都合によりあらかじめ定めた代金が減額される、セールへの協力、リベートやバックマージン等の請求がある など
	● 代金の支払遅延	→ 商品を受領後に定められた支払期日までに代金が支払われない など
	● 買ったたき	→ 類似商品の価格や流通している市場価格に比べ著しく低い代金を定められる など
	● 納品時間・期限等の指定	→ 指定時間が限定的かつ短い、又は賞味期限に関する 1 / 3 ルール等を踏まえた過剰な納品期限を設定した納品を求められる など
	● 契約条件の明確化・協議	→ 契約条件が曖昧なまま負担の要請や納品条件を指示される、コスト上昇分の取引価格への上乗せを了承しても取引数量を曖昧なままにされて後日、実質的に取引の停止と言えるほど減らされてしまう など

● 物流コストの負担	→ トラックドライバー不足等により配送コストが増加しているが値上げ交渉を拒まれ、自社でコスト増加分を負担している など
● センターフィー、受発注システム使用料の負担	→ 物流センターのセンターフィーや受発注システムの使用料を合理的な根拠が示されることなく徴収される など
● 検品	→ 過剰な条件等による検品を求められる など
● 返品	→ 商品を受領後、当方に責任のある不良品等以外のものを返品される など
● 受領拒否	→ 先方の指示等により注文された商品について当方に責任がないのに受領を拒まれる など
● 労務の提供	→ 先方の業務等に対し当方の従業員派遣など労務の提供を求められる など
● 購入・利用強制	→ 先方が指定する物品や役務を強制的に購入又は利用することを求められる など

【問 12】第 1 位の会社の業態について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 百貨店
☐ 総合スーパー
☐ 食料品スーパー
☐ コンビニエンスストア
☐ ディスカウントストア
☐ ドラッグストア
☐ 生協
☐ ホームセンター
☐ 外食チェーン（ファミリーレストラン、ファストフード店等）
☐ その他個人経営飲食店等（寿司店、洋食店、中華料理店等）
☐ その他

※ ①その他を選択した場合、具体的な業態名を記入してください。

【問 13】第 1 位の会社への取引依存度について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 高（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 7 割以上くらい）
☐ 中（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割以上 7 割未満くらい）
☐ 低（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割未満くらい）

【問 14】第 1 位の会社の取引年数について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 5 年以下
☐ 5 年超～15 年以下
☐ 15 年超

● 商慣行の「働き方」への影響

【問 15】商慣行と働き方の関連についてお聞きます。取引先の都合で、自社の社員の勤務時間や休暇に影響が生じていたり、課題と考えていることがあれば、ご記入下さい。（自由記載）

【社員の働き方に影響が出ている例】

- ・発注期限を 19 時としているところ、量販店が期限を守らず、社員の残業が発生している。
- ・オンライン取引システムを導入したが、出荷者の納品伝票や顧客の発注書の一部に FAX が使われているため、社員が出社して確認し、データ入力が必要となっている。
- ・事前に打ち合わせしていて数量を決めていたにも関わらず、週末のセールが好調で欠品が発生したため、休暇中の社員の携帯電話に連絡し、発送のため、運送業者の手配をさせる。

【社員の働き方で課題と感じている例】

- ・社員の残業を減らすため、量販店の発注期限を前倒しにしたいが、取引先の心証を悪くしそうで交渉できない。
- ・社員の勤務時間外又は休日に発注を受ける場合は、連絡拒否か追加料金を取りたいが、取引を止められたり、取引量を減らされたりするのが怖く、交渉できない。

--

…… 本アンケート調査に御協力をいただきまして、ありがとうございました。 ……

5. 小売事業者へのアンケート調査票（生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査）

● 回答事業者様の企業規模

【問1】貴社の資本金額について御回答ください。（百万円）

【問2】貴社の従業員数について御回答ください。（人）

● 生鮮ガイドラインの定着状況

【問3】令和6年3月に農林水産省は「卸売市場の仲卸業者等と小売業者との間における生鮮食料品等の取引の適正化に関するガイドライン（別添）」をとりまとめ、現在、その普及・啓発を行っているところですが、本ガイドラインの認知状況をお伺いしたく存じます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ ガイドラインを知っていた
☐ ガイドラインを知らなかった → 【問6】へ

【問4】問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 社内で周知している
☐ 取引先に伝え、協議している
☐ 取引先から本ガイドラインを受けて協議の申出があった

【問5】問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや仲卸業者等の協議を受けて取引の改善が図れた項目の□にチェック（✓）を入れてください（複数回答可）。改善が必要と考える事案がない場合は、冒頭にチェック（✓）を入れてください。

また、取引先との間で以下のような取引上の問題が生じないよう、貴社で取り組まれている事例がありましたら、「その他」の□にチェック（✓）を入れ、その内容をご記載下さい。

なお、選択肢の文言は本ガイドラインから引用しております。

- ☐ 取引の改善が必要と考える事案はない

【取引の改善が図られた事案】

- ☐ 仲卸業者等への不当な返品
（例：一部の品質が悪いとの理由、バーコードや値札シール貼付後、納品後一定期間後の返品）
☐ 納品価格の不当な引き下げ
（例：セール時の一律の値引き、別の取引先価格を引き合いにした値下げ）
☐ 物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定
（例：労務費等の高騰を資料に基づく要請に反した一方的な価格の据え置き、季節商品の値上げ要請に速やかに対応しない）

- ☐ 説明のないリベートの負担の要請
(例：使途不明、算定根拠のない協賛金・物流費の要請、会費等の要求を断った際取引打ち切り)
- ☐ 一方的なセンターフィー等の負担の要請
(例：明確な説明がないセンターフィーの設定料率変更)
- ☐ 受発注システム使用料の過度な徴収
(例：取引開始条件としてのオンラインシステム開発費用や月次使用料の負担要請)
- ☐ 物の購入要請
(例：恵方巻等イベントの商品購入の催促や取引打ち切りのほのめかし)
- ☐ 従業員派遣や役務の提供の過度な要請
(例：店舗新規開店時の従業員派遣や人件費の負担要請)
- ☐ 十分に説明のない取引条件の変更
(例：店舗への急なサービスでの配送依頼、これまでにない色むらの指摘を理由とした価格引き下げ、産地が異なるだけでの返品)
- ☐ その他（自由記載）

●第1位の取引先との間の課題

貴社が取引されている事業者のうち、最も生鮮食料品の取引額の大きい会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

【問 6】第 1 位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ ある
- ☐ 特にない → 【問 12】へ

【問 7】問 6 で「ある」と回答された方にお聞きます。貴社と第 1 位の会社との取引関係において以下の＜選択項目の概要＞に列挙した内容のうち、貴社で対策を取っているもの（取引先からの申入れ等を受けたものを含む）があれば、1 つを選択して御回答下さい。

注：「内容」は、以下の＜選択項目の概要＞を参考に選択してください。

	項 目
【問 7】 内容	☐ 取引価格や単価 ☐ 代金の減額（リベート等） ☐ 代金の支払遅延 ☐ 買ったたき ☐ 納品時間・期限等の指定 ☐ 契約条件の明確化・協議 ☐ 物流コストの負担 ☐ センターフィー・受発注システム使用料の負担 ☐ 検品 ☐ 返品 ☐ 受領拒否 ☐ 労務の提供 ☐ 購入・利用強制 ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [

＜選択項目の概要＞

	選択項目	概要
課題の内容	● 取引価格や単価	→ 原料相場が高騰しているが納品する商品価格を据え置き、コストを上乗せした価格での交渉に応じない など
	● 代金の減額（リベート等）	→ 仲卸業者等の責めに帰すべき理由もなく、あらかじめ定めた代金を減額する、セー ールへの協力、リベートやバックマージン等の請求をする など
	● 代金の支払遅延	→ 商品を受領後に定められた支払期日までに代金を支払わない など
	● 買いたたき	→ 類似商品の価格や流通している市場価格に比べ著しく低い代金を定める など
	● 納品時間・期限等の指定	→ 指定時間が限定的かつ短い、又は賞味期限に関する 1 / 3 ルール等を踏まえ た納品期限を設定した納品を求める など
	● 契約条件の明確化・協議	→ 契約条件が曖昧なまま経費負担を要請したり納品条件を指示する。コスト上昇 分の取引価格への上乗せを了承しても取引数量を曖昧なままにして後日、実 質的に取引の停止と言えるほど減らす。仲卸業者等の責めに帰すべき理由もな く取引数量を減らす など

● 物流コストの負担	→ トラックドライバー不足等により配送コストが増加しているが値上げ交渉を拒み、仲卸業者等にコスト増加分を負担させる など
● センターフィー、受発注システム使用料の負担	→ 物流センターのセンターフィーや受発注システムの使用料を合理的な根拠を示すことなく徴収している など
● 検品	→ 過剰な条件等による検品を求めている など
● 返品	→ 商品を受領後、仲卸業者等に責任のある不良品等以外のものを返品する など
● 受領拒否	→ 小売事業者の指示等により注文した商品について仲卸業者等に責任がないのに受領を拒む など
● 労務の提供	→ 小売事業者の業務等に対し仲卸業者等の従業員派遣など労務の提供を求める（新店舗開業の際の人員派遣等） など
● 購入・利用強制	→ 小売事業者が指定する物品や役務を強制的に購入又は利用することを求める（恵方巻の購入、試食販売の販売員手配等） など

【問 8】問 6 で「ある」と回答された方にお聞きます。具体的にどのような対策を取られたか、ご記載下さい（自由記載）

【問 9】第 1 位の会社の業態について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 仲卸業者
☐ 卸売業者
☐ JA
☐ 農業生産法人
☐ 生産者個人
☐ 食品製造事業者
☐ 食品卸売事業者
☐ その他

※ 「その他」を選択した場合、具体的な業態名を記入してください。

【問 10】第 1 位の会社との取引の割合について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 大（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 7 割以上くらい）
☐ 中（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割以上 7 割未満くらい）
☐ 小（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割未満くらい）

【問 11】第 1 位の会社との取引年数について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 5 年以下
- ☐ 5 年超～15 年以下
- ☐ 15 年超

● 商慣行の「働き方」への影響

【問 12】商慣行と働き方の関連についてお聞きます。取引先との関係で、貴社がすでに取り組んでいる又は、改善できると考えている取組があれば、ご記入下さい。（自由記載）

【取引先社員の働き方に影響が出ている例】

- ・仲卸業者等の発注期限が 19 時となっているのに、発注期限を守れておらず、仲卸業者等の残業が発生したことから、発注期限を厳守するよう社内ルールを整備した。
- ・仲卸業者等がオンライン取引システムを導入したが、発注書の一部に FAX を使っているため、仲卸業者等の社員が出社して確認し、データ入力を行う作業が必要となっていることから、FAX の使用を取りやめた。
- ・仲卸業者等と事前に打ち合わせしていて数量を決めていたにも関わらず、週末のセールが好調で欠品が発生した場合は休暇中の仲卸業者等には連絡せず、別の店舗や在庫を使って調整する。【取引先社員の働き方で課題と感じている例】
- ・仲卸業者等の残業を減らすため、発注期限の前倒し交渉の受け入れや、提案をしている。
- ・仲卸業者等の勤務時間外又は休日に発注する場合は、連絡しないか追加料金を支払う取り決めになっている。

…… 本アンケート調査に御協力をいただきまして、ありがとうございました。 ……